

大学名 佐賀大学

第74号 特集タイトル  
「未来社会に向けた教員養成」

## 表題 教育分野に特化した継続・育成型高大接続カリキュラム「教師へのとびら」を展開

佐賀大学が全学的に展開する高大連携事業「とびらプロジェクト」の一環として、教育分野に興味・関心をもつ佐賀県内の高校生を対象に、高校生の進路意識・進学意識の育成を目指して、独自のカリキュラム「教師へのとびら」を展開しています。

2014年の開始以降、合計で800名超(実人数)の高校生が本カリキュラムを受講しました。受講生の一部は佐賀大学教育学部に入学したり佐賀県教員として採用されたりするなど、地域で活躍する教員の育成に貢献するプログラムとなっています。

本プログラムを対象とした研究活動にも取り組んでいます。これまでの研究により、本プログラムは高校生時点のキャリア意識の向上に効果的であるだけでなく、大学入学以後の学修・就職活動に役立ったり、現職教員の研修に役立ったりするという効果があることも明らかになりました。研究成果の一部は、論文や書籍として発表しています。

### 佐賀県教育委員会と連携、学部科目を体験

本事業は、佐賀県教育委員会の協力を得て実施しています。受講生は、教育委員会の講師の講演を聞くことで、佐賀県の教育課題や教師の仕事内容に関する知識を身につけ、いま求められている教師像について理解を深めていきます。

また、佐賀大学教育学部が開講する専門科目の一部を体験受講する機会も設けています。これにより、受講生は教員免許の取得に向けて、大学では何をどのように学ぶのかを理解することができます。



↑ 教育委員会講師の講演

#### 講義テーマの例

児童生徒の不調に気づくためのポイント(教育相談)

言語能力の測定と評価(英語科教育法)

### 他校の生徒と協働的に学習、成果を発表

各プログラムには、学んだことを振り返り受講生同士で発表する時間があります。他校の生徒とグループワークに取り組むことで、学校現場で先生方と協力したり子ども理解を深めたりするために必要な、他者との基本的なコミュニケーション能力を養うことを目指しています。

最終回では、各回で得られた学びを「ポートフォリオ」としてまとめ、発表します。これにより、大学での勉強に積極的に取り組んでいくための主体的な行動力や学修態度を身につけることができます。

高校2年生対象のプログラム「ワールド・カフェ」の様子。現職教員、大学生、他校の生徒と、グループワークに取り組む。→



校種を選ぶことに採用試験ぎりぎりまで悩んでいた時に「教師へのとびら」のポートフォリオを見直して、どこで自分は本当に教師になりたいって思ったのかを確認することができた。

↑ 受講後、佐賀大学に入学した学生の声

高校生に自身の経験と絡めながら話をすることで、自分自身のことを振り返ることができ、改めて教員の資質とは何かなど、教員という職業の本質に迫ることができる。

↑ 協力した現職教員の声

### プログラム全体のイメージ

1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 佐賀県教育委員会の講演①(入門)</li> <li>➤ 大学生と一緒に講義を受けよう①(教科系)</li> <li>➤ 教職実践演習にチャレンジ!①(道徳等)</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 佐賀県教育委員会の講演②(発展)</li> <li>➤ ワールド・カフェによるグループ討論</li> <li>➤ 大学生と一緒に講義を受けよう②(教職系)</li> <li>➤ 教職実践演習にチャレンジ!②(学級経営等)</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ ポートフォリオ発表会、修了式</li> </ul>

参考URL

佐賀大学 教師へのとびら

検索

<https://www.sao.saga-u.ac.jp/admission.center/tobira/>